

人間社会学部人間形成学科

1. 人間形成学科とは

人間は一人で生きていくことはできません。二人以上の人間がいれば、そこに社会が生まれます。人間は生まれた瞬間から死ぬ瞬間まで、社会と関わりながら自分の人生を生きていくこととなります。社会の中で人間は、どのようにして生きていくための知識を身につけ、周りにうまくとけ込みながら自分の生きがいを見つけ、自分の人生を全うすることができるのでしょうか。人間はきわめて複雑な生き物です。とても単一の学問だけで語れるものではありません。そこで、人間の生涯にわたる発達をさまざまな側面から調べていくことが必要となります。

人間形成学科では、人間の生涯にわたる発達のしくみを調べ、そこに生きる人間に対する教育のあり方を調べていきます。しかし、人間は必ずしも健康な人生を送れるとは限りません。その人生の途中にあって、さまざまな難題を抱えて立ち止まり、後戻りしてしまうことも少なくありません。そのような人たちに対して、教育的支援や心理的援助の立場から考えていく必要があります。

2. 人間形成学科の目的

人間形成学科は、生涯発達の視点に立ち、乳幼児期から高齢期にいたる人間の形成過程とその諸問題に関する総合的な研究・教育を行い、教育的・心理臨床的な援助などに携わる専門的な人材を育成することを目的としています。

3. 教育目標と専門教育科目

生涯にわたる人間の形成過程とその諸問題を科学的にとらえるには、人間を形成すること、教育をすることばかりでなく、人間の心理的な側面、生物・身体的な側面も見えていく必要があります。したがって、人間形成学科では、①生涯にわたる「教育」のあり方とその諸問題、②生涯にわたる「こころ」の変化とその諸問題、③生涯にわたる「からだ」の変化とその諸問題について、それぞれの専門知識・理解を総合して実践できる人材の育成を目標として教育を行っています。

このことから、本学科では次のような専門教育科目を用意しています。

- (1) 基幹科目：人間形成学科全体に共通する基礎的・基本的な科目で、上記①～③のそれぞれに関する必修科目と選択科目があります。

必修科目＝教育学概論、教育思想論、生涯教育論、発達心理学Ⅰ、発達心理学Ⅱ、教育心理学概論、心身科学A、心身科学B

選択科目＝教育社会学、生理心理学Ⅰ、発育論、加齢基礎論

- (2) 展開科目：上記①～③のそれぞれに関する専門科目を、次の3つの「系」に分けて用意しています。

- ① 教育系 「教育」に関する教育学・保育学を中心とした科目群です。
- ② 心理系 「こころ」に関する心理学を中心とした科目群です。
- ③ 生涯発育系 「からだ」に関する栄養学・保健学を中心とした科目群です。

- (3) 関連科目：上記3つの「系」のそれぞれに関連する専門科目、資格・免許の取得に必要な専門科目、関連の深い他学科開設の専門科目等です。

(4) 共通専門科目：各学科の学生が人間社会学部の学生として共通に学ぶことが必要な専門科目です。これには本学科の開設科目と他の学科の開設科目があります。

4. 履修方法と履修コース

専門科目の履修方法は、まず「基幹科目」のうちの必修科目は全員が履修しなければなりません。また、「共通専門科目」（60p参照）は他学科で開設される3科目以上を含み6科目以上を履修しなければなりません。

次に、「基幹科目」のうちの選択科目、そして「展開科目」、「関連科目」の履修方法ですが、これらの科目はすべて選択科目なので、自由に選択履修することができます。

とはいえ、自由気ままな摘み食いの選択は避けるべきです。それでは何の専門性も身につかないからです。したがって自分が身につけたい専門性をよく考え、その専門性に関する科目群、つまりいずれかの「系」を中心に自分なりの履修計画をたて、4年間にわたって計画的・総合的に履修していかなければなりません。

一例を挙げれば、人間の生涯にわたる「こころ」の発達とその諸問題に関する専門的知識・理解を身につけたい人は「心理系」の科目群を中心として履修していきますが、人間の「こころ」は「からだ」と密接な関連があり「教育」によって左右される面もあるということから、「生涯発育系」「教育系」の科目群の中からも選択履修していく必要があります。また、人間の生涯にわたる「教育」のあり方とその諸問題、生涯にわたる「からだ」の変化とその諸問題に関する専門性を身につけたい場合も同じです。いずれかの「系」の科目群を中心に、他の「系」の科目も計画的・総合的に選択履修していかなければなりません。

とはいえ、4年間にわたる履修計画を自分で立てることは、すべての専門科目の概要（シラバス）を理解したとしても、なかなか困難な面があります。そこで次に、本学科お勧めの履修モデルとして、3つの履修コースを示します。この履修コースは本学科の3つの「系」にわたる専門科目を計画的・総合的に履修していくための履修モデルであり、また本学科で身につけるべき専門性と将来の進路を想定したものです。これを参考にして自分なりの履修計画を立てるようにして下さい。

心理コース

心理コースは「心理系」の科目を中心に専門科目を選択履修していくコースです。以下に示すように、まず心理学の基礎を学び、心理学研究に必要な方法論を学んでいきます。さらに心理学の各分野・領域を学んでいきます。このコースは卒業後、公務員・企業・病院などで相談業務に就くことを目指したり、大学院に進んで心理臨床活動や心理学研究をしたりすることを目指す人にお勧めの履修コースです。

以下に主な専門科目を示します。

- 1年次：心理学、心の科学の現在、発達心理学Ⅰ・Ⅱ、人格心理学、コミュニケーション論、社会心理学、思春期保健、精神保健学など
- 2年次：実験測定法Ⅰ・Ⅱ、教育心理学概論、発達心理学Ⅲ、生理心理学Ⅰ・Ⅱ、集団力学、心身科学A・B、加齢基礎論など
- 3年次：知覚心理学、認知心理学、学習心理学、組織心理学、臨床心理学、人間関係の科学、教育評価、データ処理とデータ解析Ⅰ・Ⅱ、演習など

4年次：家族心理学、障害者（児）心理学、カウンセリング、教育相談、教育相談（幼児教育）、演習、卒業論文など

こどもコース

こどもコースは「教育系」の科目、特にこども（児童）の保育・教育に関わる科目を中心に専門科目を選択履修していくコースです。以下に示すように、こどもの「こころ」と「からだ」の発達とその諸問題を学び、こどもの発達を促すための環境構成、保育内容、方法、計画等を学んでいきます。このコースは卒業後、保育士あるいは幼稚園教諭の職を目指す人にお勧めのコースです。

以下に主な専門科目を示します。

- 1年次：教育学概論、発育論、保育者論、小児保健学A－I・A－II、思春期保健、精神保健学、音楽I、造形I、社会福祉学概論Iなど
- 2年次：保育学、栄養学I・II、小児保健学B、小児保健学実習、保育内容・環境I・II、保育内容・言葉I・II、障害児保育、音楽II、造形II、体育I、養護原理、社会福祉演習、児童福祉論など
- 3年次：保育計画論、保育方法論、栄養学実習、小児栄養、保育内容・健康I・II、保育内容・人間関係I・II、保育内容・表現I・II、乳児保育、幼児理解の理論と方法、体育II、児童文学、子どもと遊び、野外活動体験、家族援助論、養護内容I・II、幼稚園実習I、保育実習I・II、施設実習、演習など
- 4年次：保育内容演習、教育相談、教育相談（幼児教育）、施設養護論、幼稚園教育実習II、保育・教職実践演習（幼稚園）、演習、卒業論文など

社会教育コース

社会教育コースは「教育系」の科目、特に地域社会における子どもから大人までの教育（学習活動の支援）に関する科目を中心に専門科目を選択履修していくコースです。以下に示すように、「教育系」の専門科目、特に社会教育に関連する科目が中心となりますが、社会教育は人々の实际生活や地域社会のあり方と深く関わっているため、他学科開設科目も含めて社会や地域、社会福祉に関する基礎的科目も学んでいく必要があります。このコースは卒業後、公民館などで地域住民の学習活動の支援や子育てサークルの支援活動に取り組むことを目指す人にお勧めのコースです。

以下に主な専門科目を示します。

- 1年次：教育学概論、社会教育特講D、社会福祉学概論Iなど
- 2年次：教育心理学概論、教育思想論、生涯教育論、心身科学A・B、加齢基礎論、教育史、比較教育学、社会教育論、社会教育特講A・E、社会統計学、社会調査法、家族社会学I・II、社会保障論I・IIなど
- 3年次：教育社会学、公共人類学II（教育）、教育制度論、教育内容論、教育方法論、教育評価、社会教育計画論I・II、図書館情報学、社会教育演習、成年期保健、老年期医学、国際教育文化交流論、社会教育特講B・C、キャリア教育論、現代社会論C、地域福祉論I・II、演習など
- 4年次：演習、卒業論文など

5. 演習（ゼミ）の選択

「演習」（以下、ゼミ）はそれ以外の授業とは異なり、担当教員が何か一定の内容を教え授けるものではありません。学生がそれぞれの専門性を深めるために自分で研究テーマを設定し、自分で研究を進めていくものです。担当教員はそれを支援するための専門的な助言や指導を行います。したがってゼミでは、たとえば研究テーマに関する学術書を輪読したり、調べた文献・資料をまとめて発表し討議をしたり、調査や実験を行ったりすることが中心です。

学生はいずれかのゼミを選択し、ゼミの活動に参加して専門性を深め、その成果を卒業論文としてまとめなければなりません。

以上は人間社会学部の各学科に共通のことですが、人間形成学科では14のゼミがあり、3年次後期から4年次前期にかけて行われます。本学科の1学年の学生数は約55名なので、単純計算では1ゼミ当たり学生約4名ということになりますが、ゼミによっては希望者が多いところもあるため、各ゼミとも6名を上限としています。

ゼミの選択は3年次の前期に相談期間を設けて行います。その選択に当たっては、自分が深めたい専門性、将来の進路等を勘案し、取り組みたい研究テーマを2～3考えてから担当教員に相談をすることが必要です。

6. 資格・免許

人間形成学科では、必要な科目を履修し単位を修得して卒業すれば、以下のような資格・免許が取得できます。

(1) 保育士資格

保育士とは、児童福祉法において、「登録を受け、保育士の名称を用いて、専門的知識及び技術をもって、児童の保育及び児童の保護者に対する保育に関する指導を行うことを業とする者」と定められた保育の専門職であり、保育所・園で働く先生だけが保育士なのではありません。

保育士の資格を証明するものを保育士証といい、これは都道府県知事が有資格者を名簿に登録して授与するものです。保育士証は国が指定した保育士養成施設（本学科はそれに該当します）で指定された科目を履修して単位を修得し、保育士登録の申請をすることで取得することができます。詳しくはこの便覧の「資格・免許の取得」（85 p）を参照してください。

(2) 幼稚園教諭一種免許状

この免許は、小学校教員、中学校教員などの免許と並ぶ教員免許のひとつであり、短期大学などの養成課程修了者には二種免許状、4年生大学の養成課程修了者には一種免許状が与えられます。

人間形成学科では、「こどもコース」を中心に、指定された科目を履修し必要な単位を修得することによって、卒業時に幼稚園教諭一種免許状が取得できます。詳しくは、この便覧の「資格・免許の取得」（88 p）を参照してください。

(3) 社会教育主事任用資格（基礎資格）

社会教育主事とは、社会教育を行う者に専門的技術的な助言・指導を行うことを職務とする教育公務員で、教育公務員特例法に定める教育的専門職員の一つです。都道府県・市町村教育委員会に必置されるほか、自治体によっては公民館などの社会教育施設にも配属されます。

人間形成学科では、「社会教育コース」を中心に、指定された科目を履修して単位を修得すれば、社会教育主事に任用されるための資格（基礎資格）を取得できます。ただし、社会教育主事の任用資格そのものは大学卒業時に取得できるものではなく、1年以上の社会教育主事補としての実務経験が必要です。詳しくは、この便覧の「資格・免許の取得」（92 p）を参照してください。

(4) 高等学校教諭一種免許状（公民）、中学校教諭一種免許状（社会）

この免許を取得するための養成課程は（免許課程）は、本来、公共社会学科に開設されているものですが、人間形成学科の学生でも必要な科目を履修して単位を修得すれば取得可能です。ただし、人間形成学科ではこの免許取得のための授業時間（時間割）の便宜を図っているわけではありません。したがって在学4年間での免許取得を保証するものではありません。詳しくは、この便覧の「資格・免許の取得」（71 p）を参照してください。

(5) 認定心理士

この資格は、大学で心理学の基礎を勉強し、他大学の心理学科卒業生と同等の基礎知識があるということを日本心理学会が証明するものです。この資格を持っているからといって臨床心理士への道が開かれているというわけではありません。

また、この資格は国家資格ではないので、学生便覧の「資格・免許の取得」には載せていません。詳しくは心理学担当の教員にたずねるか、以下のホームページを参照してください。

http://www.psych.or.jp/n_about1/index.html

別表第6 人間形成学科専門教育科目（※は共通専門科目）

区分	授業科目	単位		授業方法	開設時期（標準履修年次）				備考
		必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次	
基幹科目	※教育学概論	2		講義	2				
	教育思想論	2		講義		2			
	※生涯教育論	2		講義		2			
	教育社会学		2	講義			2		
	発達心理学Ⅰ	2		講義	2				
	発達心理学Ⅱ	2		講義	2				
	教育心理学概論	2		講義		2			
	生理心理学Ⅰ		2	講義		2			
	心身科学A	2		講義		2			
	心身科学B	2		講義		2			
	発育論		2	講義	2				
加齢基礎論		2	講義		2				
展開科目	教育史		2	講義		2			
	公共人類学Ⅱ(教育)		2	講義			2		
	教育制度論		2	講義			2		
	教育内容論		2	講義			2		
	教育方法論		2	講義			2		
	比較教育学		2	講義		2			
	教育評価		2	講義			2		
	保育学		4	講義		4			
	保育計画論		2	講義			2		
	保育方法論		2	講義			2		
	保育者論		2	講義	2				
	保育内容総論		2	講義		2			
	保育内容演習		2	演習				2	
	※社会教育論		2	講義		2			
	社会教育計画論Ⅰ		2	講義			2		
	社会教育計画論Ⅱ		2	講義			2		
	図書館情報学		2	講義			2	(2)	隔年開講 平成23年度は開講しない
社会教育演習		2	演習			2			
心理系	生理心理学Ⅱ		2	講義		2			
	知覚心理学		2	講義			2		
	認知心理学		2	講義			2		
	比較行動学		2	講義				2	開講しない
	学習心理学		2	講義			2		
	※人格心理学		2	講義	2				公共社会学科のパーソナリティ論と共通
	発達心理学Ⅲ		2	講義		2			
	老年心理学		2	講義			2		
	※コミュニケーション論		2	講義	2				
	集団力学		2	講義		2			
	家族心理学		2	講義				2	
	組織心理学		2	講義			2		
	臨床心理学		2	講義			2		
障害者(児)心理学		2	講義				2		
カウンセリング		2	講義				2		
実験測定法Ⅰ		1	演習		1				
実験測定法Ⅱ		1	演習		1				

区分	授 業 科 目	単 位		授業方法	開設時期 (標準履修年次)				備 考		
		必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次			
(展 開 科 目)	生 涯 発 育 系	栄養学Ⅰ		2	講義		2				
		栄養学Ⅱ		2	講義		2				
		栄養学実習		1	1	実習			1		
		小児栄養		2	2	演習			2		
		小児保健学A-I		2	2	講義	2				
		小児保健学A-II		2	2	講義	2				
		小児保健学B		2	2	講義		2			
		小児保健学実習		1	1	☆実習		1			
		性医学心理学		2	2	講義				2	開講しない
		思春期保健		2	2	講義	2				社会福祉学科の社会福祉特講Bと共通
		成年期保健		2	2	講義			2	(2)	隔年開講 平成22年度は開講しない
		老年期医学		2	2	講義			2		
		公共人類学Ⅰ(医療)		2	2	講義			2		
		精神保健学		2	2	講義	2				社会福祉学科の精神保健学Ⅰと共通
関 連 科 目	保 育 内 容 ・ 健 康 ・ 人 間 関 係 ・ 環 境 ・ 言 葉 ・ 表 現 ・ 乳 児 保 育 ・ 障 害 児 保 育 ・ 幼 児 理 解 の 理 論 と 方 法 ・ 教 育 相 談 ・ 音 楽 ・ 造 形 ・ 体 育 ・ 児 童 文 学 ・ 子 ど も と 遊 び ・ 野 外 活 動 体 験 ・ 家 族 援 助 論 ・ 養 護 理 論 ・ 養 護 内 容 ・ 施 設 養 護 論 ・ 保 育 ・ 教 職 実 践 演 習 (幼 稚 園) ・ 幼 稚 園 教 育 実 習 事 前 事 後 指 導 ・ 幼 稚 園 教 育 実 習 Ⅰ ・ 幼 稚 園 教 育 実 習 Ⅱ ・ 保 育 実 習 Ⅰ	保育内容・健康Ⅰ		1	演習			1			
		保育内容・健康Ⅱ		1	1	演習			1		
		保育内容・人間関係Ⅰ		1	1	演習			1		
		保育内容・人間関係Ⅱ		1	1	演習			1		
		保育内容・環境Ⅰ		1	1	演習		1			
		保育内容・環境Ⅱ		1	1	演習		1			
		保育内容・言葉Ⅰ		1	1	演習		1			
		保育内容・言葉Ⅱ		1	1	演習		1			
		保育内容・表現Ⅰ		1	1	演習			1		
		保育内容・表現Ⅱ		1	1	演習			1		
		乳児保育		2	2	☆演習			2		
		障害児保育		1	1	演習		1			
		幼児理解の理論と方法		2	2	講義			2		
		教育相談		2	2	講義				2	
		教育相談(幼児教育)		2	2	講義				2	
		音楽Ⅰ		2	2	演習	2				
		音楽Ⅱ		2	2	演習		2			
		造形Ⅰ		2	2	演習	2				
		造形Ⅱ		2	2	演習		2			
		体育Ⅰ		2	2	演習		2			
		体育Ⅱ		2	2	演習			2		
		児童文学		2	2	講義			2		
		子どもと遊び		2	2	講義			2		
		野外活動体験		2	2	実習		2			隔年開講 平成22年度は開講しない
		家族援助論		2	2	講義			2		社会福祉学科の家族福祉論と共通
		養護原理		2	2	講義		2			
		養護内容Ⅰ		1	1	演習			1		
		養護内容Ⅱ		1	1	演習			1		
		施設養護論		2	2	講義				2	
		保育・教職実践演習(幼稚園)		2	2	☆演習				2	
		幼稚園教育実習事前事後指導		1	1	☆実習			1		
		幼稚園教育実習Ⅰ		2	2	実習			2		
		幼稚園教育実習Ⅱ		2	2	実習				2	
		保育実習Ⅰ		5	5	実習			5		

区分	授 業 科 目	単 位		授業 方法	開設時期（標準履修年次）				備 考
		必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次	
（ 関 連 科 目 ）	保育実習Ⅱ		2	実習			2		
	施設実習		2	実習			2		
	社会福祉演習		2	演習		2			
	児童福祉論		2	講義		2			
	国際教育文化交流論		2	講義			2		
	社会教育特講A		2	講義		2			
	社会教育特講B		2	講義			2		
	社会教育特講C		2	講義			2		
	社会教育特講D		2	講義	2				
	社会教育特講E		2	講義		2			
	キャリア教育論		2	講義			2		
	現代社会論C		2	講義			2		
	社会統計学Ⅰ		2	講義		2			
	社会調査法		2	講義		2			
	医学概論		2	講義	2				
共通 専門 科目 (他 学科 開設)	※社会心理学		2	講義	2				
	※データ処理とデータ解析Ⅰ		1	演習			1		
	※データ処理とデータ解析Ⅱ		1	演習			1		
	※家族社会学Ⅰ		2	講義		2			
	※家族社会学Ⅱ		2	講義		2			
	※社会福祉学概論Ⅰ		2	講義	2				
	※社会保障論Ⅰ		2	講義		2			
	※社会保障論Ⅱ		2	講義		2			
	※地域福祉論Ⅰ		2	講義			2		
	※地域福祉論Ⅱ		2	講義			2		
	演習	2		演習			2		3年次後期～4年次前期
	卒業論文		6				6		1科目選択必修
	卒業研究		6				6		

※ 共通専門科目は、他学科で開設される3科目以上を含んで、6科目以上選択必修。

注：授業方法欄の「☆演習」「☆実習」は、毎週1回（90分）で半期、原則として15回の授業となる。